

平成25年度地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北国街道を中心とした近隣自治会文化交流事業
事業主体 (連絡先)	下紺屋町巴会 (佐藤 好彦 電話 0268-25-1900)
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,217,770円 (うち支援金: 913,000円)

事業内容

- 支援金を受け3年目の節目の年、3自治会を中心に主体的な事業運営がはかられた。
- 2,000枚のチラシを上田市の広報と一緒に配布するなど、効率的な告知ができた
- 御輿運行上の安全の確保及びまつり開催における意識の共有を目的に70個のLED照明を購入した。
- 北国街道「柳町」の持つ文化の薫りを新規購入の照明が効果的に映し出した。



【 柳町風景 】

※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

- 柳町の出店数も昨年よりも4店舗増え、意欲的な姿勢と事業目的の共有がはかられた。
- 関連自治会の参加者も昨年より30名程増え、まつりが浸透してきたことがうかがえた。
- チラシが効果的に配布され、配布数も増加したところにより、新たに3自治会の御輿が柳町を通過するなど、着実に事業目的に賛同する「輪」が広がってきている。
- 新規購入した10個のLED照明及び70個の提灯がまつりの雰囲気、住民の参加意識を盛り上げた。

【目標・ねらい】

- 地域住民の協働意識の向上
- 柳町店舗の事業目的の共有
- 助け合いの精神の醸成
- 新たなステージの創造

※2 自己評価 (事業効果) 【 B 】

今後の取り組み

- 次第にまつりが地域住民に浸透してきたことで、各自治会の垣根を越えた行事への相互参画につなげていきたい。
- 地域の活性化をめざし、協働意識を強化し、次世代へ文化の継承を。
- 柳町の商業施設は、さらなる誘客をはかるため、おもてなしの心と独創的な商品開発をすすめる、市内から県外そして、全国にその存在を発信していく。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある